

広 報

ふじがわ

6月号

昭和54年6月20日発行

No. 215

町のメモ

昭和54年6月1日現在

人口	16,895人
増減	-33人
男	8,405人
女	8,490人
世帯数	4,219世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



がんばるぞ！

だって、ぼくらの年だもん

～ 5/20 親子ゲーム大会 ～

町の今年
の目標

「きれいな町に
しましょう」

今、子どもたちは なにを望んでいるのか

今年も国際児童年。国連で児童権利宣言が採択されてから、ちょうど二〇年目にあたります。これを記念して「子どもは民族の宝、世界の宝」という認識のもとに、子どもたちの幸せについてみんなで考えよう、という年なのです。この機会に私たちは子どもたちの世界を直視し、そのありのままの姿を理解するとともに、新しい親子関係のあり方を見いだしたいものです。

そこで、子どもたちは何を考え、どんな将来の希望を持って勉強に遊びに、毎日の生活を送っているのか、昨年7月、総理府が全国の小学五、六年生と中学生五、〇〇〇人を対象に行った世論調査「子どもの意識」をもとに、子どもたちの「心の風景」を探ってみました。

悩み・心配ごと 勉強・進学・自分の将来

子どもたちは、日ごろどんなこととで悩んだり、心配したりしているのでしょうか。

- ① 勉強のこと
- ② 進学(受験)のこと



自分自身を見直そう

③ 自分の将来のこと
子どもたちは
を子どもたちは
あげています。
これを学年別に
みますと「いま困
ったり、心配して
いること」との
間に、小学校五
年生では二二割
が「勉強」をあげ
中学生では四五割
が「進学」と答え
ています。
これらに次ぐ

「悩み」として小学生は「自分の将来」一五割「進学」一三割をあげています。これが中学生になると「勉強」三九割「自分の将来」二八割と、それぞれパーセンテージが高くなり「三大悩み」は高学年になればなるほど深刻化するこ

楽しいとき

テレビを見ているとき

子どもたちが「楽しいと思う」のは、何をしているときでしょうか。学校が終わったあと、勉強から「解放」されてリラックスする子どもたちの「素顔」はというと小・中学生全体で四八割が「テレビを見ているとき」と答えています。次いで「友達」といとき「四四割」「スポーツをするとき」三

学校以外の時間は

平均 二時間二五分テレビを見る

学校に行っている以外の時間を子どもたちはどのように使っているのでしょうか。

- 〈勉強する時間〉
もっとほしい 三二割
ほしくない 六二割
- 〈遊ぶ時間〉
もっとほしい 六三割
ほしくない 三三割

となっており、約六〇割の子どもが「勉強する時間はほしくないが、遊ぶ時間がほしい」と答えています。また、学習塾や、けいこことなどの程度通っているのかという

〈学習塾に通う〉

全体の三六割 週二・四回
〈けいこに通う〉

全体の三〇割 週二・一回
となっており「遊ぶ時間がほしい」という子どもたちの声が聞こえるようです。

さらに、これが反映してか「器用度・不器用度」(53年)の調査では――

将来の暮らしは 趣味にあった生活を

子どもたちは、大人になったらどんな暮らしをしたかと思っっているのでしょうか。

男女とも「趣味にあった暮らしをしたい」が最も多く、三〇割を占めています。

① ハサミで曲線に沿って切ることを
ができるのは男女とも七歳
(49年調査では四歳)
② 「肥後守」(ナイフ)での鉛筆
削りは二・五歳から一三歳
(同、六歳から七歳)
③ ノコギリで板を切断できるのは
九歳で約三〇割、一二歳でやつ
と自立
という結果が表されています。

次いで、
「金持ちでなくても清く正しく暮らしたい」
二二割
「社会のためになるようなことをして暮らしたい」
二〇割
などとなっており、その反面「金持ちになりたい」七割「有名になりたい」五割は、ぐっと少なくなっています。

男女別では「いい人と結婚して楽しく暮らしたい」が男子五割なのにに対し、女子は一八割と大きな差がみえています。
逆に「金持ちになりたい」では女子が四割ですが、男子は一〇割と多くなっています。

子どもたちは、大人になったらどんな職業につきたいと思っっているのでしょうか。
男女別にみた「希望職業ベストファイブ」は次のとおりです。

男子
① 野球選手 ② 会社員 ③ 商店経営 ④ 技術者 ⑤ 公務員
女子
① 保育、幼稚園の先生 ② 先生(小・中・高校) ③ 事務員 ④ 看護婦 ⑤ 商店経営
ただし、学年差によってかなり

将来の業 小学生は「野球選手」 中学生は「技術者」

子どもたちは、大人になったらどんな職業につきたいと思っっているのでしょうか。
男女別にみた「希望職業ベストファイブ」は次のとおりです。

- 男子
① 野球選手 ② 会社員 ③ 商店経営 ④ 技術者 ⑤ 公務員
- 女子
① 保育、幼稚園の先生 ② 先生(小・中・高校) ③ 事務員 ④ 看護婦 ⑤ 商店経営

うちのおとうさんは じっぼん

一年 わたなべさとみ

おとうさんは、ゆうがたやくばからかえってきます。じゅうじごろかえってくるときは、おみやげをかってきてくれます。
にちようびには、どこかへ、つれていってくれるので、とてもうれいす。
このまえのにちようびには、かぞくで、やんぐらんどへいってききました。
おとうさんは、わたしより、す

ぼくが洋服を着て、くつをはき物を食べて、生活ができるのは、父が汗を流して働いてかせいだお金があるからだ。もし、父がいなくなったら、たちまち家は貧しくなってしまうだろう。だからぼくは、父をそんけいしている。なぜなら父は、ぼくにとって世界でたった一人の父なのだから。
父の仕事は、建物の土台を作り鉄きんを組む仕事だ。だから雨の日や、仕事のない日は、家にいるが、そういう日はたいいていねてし

ぼくが洋服を着て、くつをはき物を食べて、生活ができるのは、父が汗を流して働いてかせいだお金があるからだ。もし、父がいなくなったら、たちまち家は貧しくなってしまうだろう。だからぼくは、父をそんけいしている。なぜなら父は、ぼくにとって世界でたった一人の父なのだから。
父の仕事は、建物の土台を作り鉄きんを組む仕事だ。だから雨の日や、仕事のない日は、家にいるが、そういう日はたいいていねてし



まう。ぼくは、父の仕事を見たこととはない。しかし、だいたいのことは想像できる。汗を流していっしょうけんめい運んでいる姿が頭にうかぶ。いつもは弱音を絶対に言わない無口な父も、ふだんはとつても大変な思いをしているのだと思うと、とつてもすまない気がする。
そんな父も、たまの休みの日はキャッチボールをしてくれる。父の球は、速くて重い球だ。ボールがグロoupに入ると、スパーンとい音がある。キャッチボールをしている時の父は、とても楽しそうな顔をする。そして父はとても野球が好きだ。仕事から帰ってく

おとうさんは、ゆうがたやくばからかえってきます。じゅうじごろかえってくるときは、おみやげをかってきてくれます。
にちようびには、どこかへ、つれていってくれるので、とてもうれいす。
このまえのにちようびには、かぞくで、やんぐらんどへいってききました。
おとうさんは、わたしより、す

甲斐の歴史をきぎんむ

る木・古木

「私たちが幼い頃、友と遊んだ思い出のなかには、いつも大木が出てくる。夏の暑い日差しをのび、麦わら帽子をかぶりセミ取り。はだしになり、自分の腕がとどかないほどの大木によじ登り、友に自慢したこと。昔は、いたるところに大木があったからだろう。それが今、区画整理、住宅増などにより、無言のまま消えようとしている。

このため教育委員会では、昨年9月老人クラブのみなさんにお願ひし、町に残る「名

木・古木」の調査をした結果、約五〇本が候補に上げられ、それらの古木のうち、町で特に推奨したいものを、本年4月開かれた文化財保護審議会（菅川守正委員長）の意見をきき決定しました。

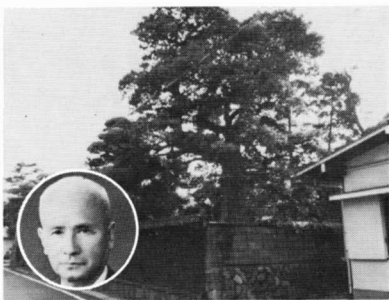
そこで、広報「ふじかわ」では、今回選ばれた古木のうちいくつかを、これら古木のある地区のお年寄りの思い出話をとおして紹介することにしました。

常盤 稔さんの榎

（上町）

樹齢はわからないけど七〇〇年くらいはあるでしょうね。江戸時代の参勤交代の時、各地の大名がこの木を目撃したといいますが、それで私の家を榎の木本陣というんですよ。

この木は古いもんですから、昔からうろがいてましてね、私の子どものころ、そこに熊ん蜂が巣をつくりまして、これに刺されては大変と、私の祖母が消防団を呼び、水をかけて退治してもらったことがあるんですよ。



榎と常盤さん

これも子どものころの話だけれどね、私と友だちが、このうろに枯葉をつめて火を付けたんですよ。

その時はひどくしかられました。今は、時々肥料をやっているんですよ、そうすると葉の色がきれいになるんですよ。

富士川橋の榿

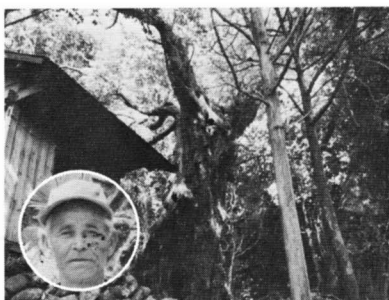
（坂下）

昔は、岩本の水神さんの方に大きな木があって、この木とて渡舟とか橋を架ける目標になってたんじゃないかなあ。

子どものころは、水あべた後、横に垂れてる枝によじ登り、よく遊んだ。枝から落ちてけがをしたのもいたっけ。それが今いってみ



榿と鈴木さん



榿と稲葉さん

八坂神社の楠

（南町一）

私たちが幼い頃、友と遊んだ思い出のなかには、いつも大木が出てくる。夏の暑い日差しをのび、麦わら帽子をかぶりセミ取り。はだしになり、自分の腕がとどかないほどの大木によじ登り、友に自慢したこと。昔は、いたるところに大木があったからだろう。それが今、区画整理、住宅増などにより、無言のまま消えようとしている。

私たちが幼い頃、友と遊んだ思い出のなかには、いつも大木が出てくる。夏の暑い日差しをのび、麦わら帽子をかぶりセミ取り。はだしになり、自分の腕がとどかないほどの大木によじ登り、友に自慢したこと。昔は、いたるところに大木があったからだろう。それが今、区画整理、住宅増などにより、無言のまま消えようとしている。



楠と小林さん

富豊神社の榿

（八幡町）

普通わしらは、この神社のことを七つのいろいろな神さんを祭っているの、富豊七神社と呼んでいるんですよ。

あの榿は、わしが思うに戦国時代わしらの先祖がこの神社にわが身が無事であることを立願し戦に

妙松寺の桜

（大北町）

私の父に聞いた話だと、あれは山桜で、樹齢が約二五〇年だそうなんです。あの桜の木には、吉野桜のようにぎっしり花が咲きますよ。

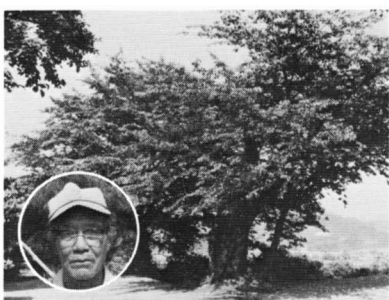
私が小さいころは、あそこに四本桜の木があって、よくあれにのしたり、うろの中で遊んだりしました。あのころは、枝が細くて手

文珠堂の榿

（大北町）

昔やあ、お文珠さんの一带は山林で、榿の木が多かった。あの榿も自然のもんで、お文珠さんを祭る前からあったら、あのいかさから見ると。

いつだったか、お文珠さんのお祭りが近づいたもんで、部落の衆でお堂のまわりをきれいにしようということになって、しばに火を付けたら、あの木のほらに火が入



榿と松下さん



榿と佐野さん

の届くところにあつたので、いたずらするのにもってこいでした。夏ともなると、みんな丸太や板を持ち寄って、よく枝のところに涼台を作り、それに乗って遊んでいた、先代の住職にしかられたのを覚えています。

松下 清さん（66）の話

昔やあ、お文珠さんのお祭りが近づいたもんで、部落の衆でお堂のまわりをきれいにしようということになって、しばに火を付けたら、あの木のほらに火が入

んでたが、あそこは昔っからぬしや（漆細工屋）で、お盆やおわんなかに漆を塗っていた。その仕事場とこにあつて、わしが子どものころは要留のわしより一級下の物市と、あの榿の木のまわりでよく漆を塗って遊んだもんだ、顔なんか、かぶらして。

望月茂晴さん（70）の話

東光寺の榿

（南町一）

あの木は三〇〇年くらいいたって思う。

わしらが子どものころは、あの木に小さなぶどうくらいの紫色の甘い実がなつて、他に食物もない時代だったので、よく食べたもんだ。

また、あの木にはうろがあつて毎年ふくろうがそこでひなをはや

お文珠さんにも面白い話があるんだ。

昔、甲州の市川大門町から、市川文珠が大雨ん時かわかんないけど、富士川に流されて、今のお文珠さんがあるあたりに、ひっかかっていたのを近所の人が拾って市川大門町に返したところ、また流れてきた。そこで、あそこに祭ったんだと。

佐野貞穂さん（70）の話

※松野地区には、明治時代一〇〇軒を越す和紙を製造する家があり、和紙の製法を教えるため、多くの職人が、山梨県からこの地に入ってきたと思われ。その職人たちが、ここに住みつき故郷をしのび、お文珠さんを祭ったという説もある。

榿と太田さん



榿と望月さん



あなたをきく

木造家屋の耐震診断

「〇月〇日正午、駿河トラフ（海底の谷）を震源とする大地震発生。マグニチュード8。県内の大部分が震度6から7の烈震、激震——このような関東大震災級の大地震「東海地震」が現実にとつたら、どのくらいの被害を受けるのだろうか。

昨年11月29日県から発表された「東海地震の危険度試算」によると、県内の総世帯数九三万九、三二五（昭和53年3月現在）のうち三万八、三五二世帯が全壊、七万二、三四四世帯が半壊。

また、富士川町となると四、〇九七世帯（昭和53年3月現在）のうち三〇〇世帯が全壊、五三三三世帯が半壊というショッキングな数字がでました。

そこで今月は、いつ起るか分からない「東海地震」に備えあなたにもできる「わが家の耐震診断」を紹介してみます。

「自家耐震診断法」

この診断を行う前に、次の準備をしてください。

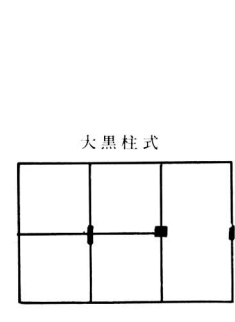
①壁の配置がわかる平面図
②建築面積（坪）の計算（二階建の場合は一階部分の建築面積）

以上の準備ができましたら、次の「自家耐震診断法」の表で、項目別に説明していきますので、あなたの家が該当するものを項目別に〇で囲んでください。

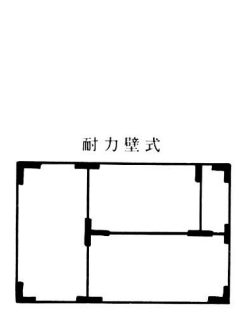
自家耐震診断法

項目	目		
	良い	普通	悪い
A	地盤		
	良い	普通	悪い
A	耐力壁式	1.2	0.9
	大黒柱式	0.9	0.6
B	屋根葺材		
	軽い	重い	
B	平家	1.2	1.0
	2階建	0.8	0.7
C	隅に壁		
	1隅が両方向とも開口	0.9	
C	1面全開口、2隅が両方向開口		
	0.8		
C	2面全面開口		
	0.7		
D	筋かい有り		
	1.5		
D	筋かいなし		
	1.0		
E	見かけの壁率が0.05未満		
	0.2		
	0.05以上0.15未満		
	0.4		
	0.15 " 0.25 "		
	0.7		
E	0.25 " 0.35 "		
	1.0		
	0.35 " 0.45 "		
	1.3		
	0.45 " 0.55 "		
	1.7		
E	0.55 " 0.65 "		
	2.2		
E	0.65以上		
	3.0		
F	増築せず		
	1.0		
F	1階のみ増築		
	0.9		
F	2階を増築		
	0.8		
G	老朽化していない		
	1.0		
G	腐蝕著しい		
	0.8		

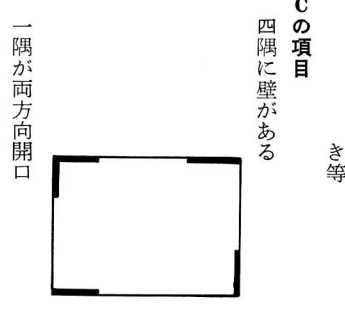
構法については——
大黒柱式は、戦前の建物に多く図のように耐力壁がほとんどない



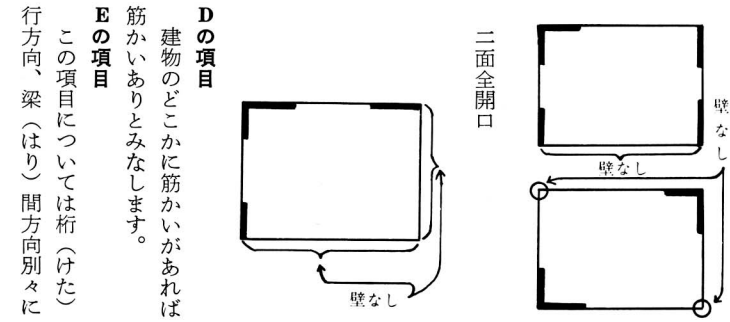
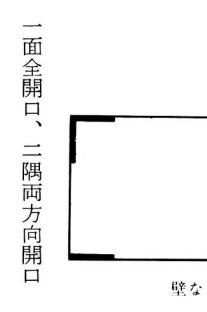
耐力壁式は、戦後の新しい建物に多い。



Bの項目
重い屋根——かわらぶき、カヤ

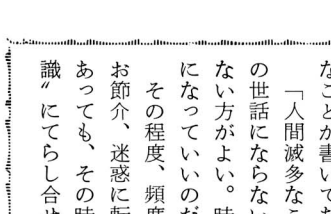


Cの項目
軽い屋根——鉄板ぶき、トタンぶき、スレートぶき等



Dの項目
建物のどこかに筋かいがあれば筋かいありとみなします。

Eの項目
この項目については桁（けた）行方向、梁（はり）間方向別々に



「最善の施設保護よりも改善の居住保護の方が求められている」ということは古くからいわれてきている。これを推進したものに、一九世紀末にスイスで始められたホームヘルパーの制度があげられる。欧米の先進諸国では、この制度が早くから広く普及した。

わが国ではこの制度が初めて行われたのは、昭和31年に長野県の市町村に配置された家庭養護婦の制度であった。その後、大阪市、名古屋市などで家庭奉仕員制度が始められ、やがて全国各地でこの制度が行われるようになり、38年の老人福祉法制定に伴って、この制度の目的や運営方法が確立されるに至った老人向けの雑誌に、次のようなことが書いてあった。

「人間減多なことでは、ひとの世話にならないなどと宣言しない方がよい。時にひとの世話になっていいのだと思う。

その程度、頻度、内容によりお節介、迷惑に転ずるおそれがある。その時は、自分の常識にてらし合せて判断し、ひ

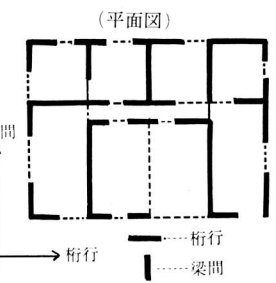
福祉の豆知識

(その二)

計算して壁の長さの少ない方で行ってください。

見かけの壁率＝壁の全長（間／建物面積（坪））

（壁の全長は外壁と内壁の合計とします）



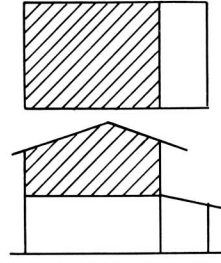
二階を増築

AからGまでの項目で、あなたの家が該当するものを各々〇で囲みましたか。

次に、AからGまで各項目別にあなたが〇で囲んだ数を掛け合せてください。

AからGまでを掛け合せた数値が〇・五未満の場合は、あなたの家は倒壊のおそれがきわめて高いので注意しましょう。

今後の対策としては、専門家と補強方法について相談する方がよいでしょう。



診断結果の判定

一階と二階を増築した場合は、二階の増築の方を〇で囲んでください。

Gの項目
建物全体から判断し、特に北側の台所、風呂場などの土台、柱脚部分を診断してください。

〇・五以上一・五未満の場合はあなたの家は専門家の精密診断が必要です。

精密診断とは、専門家が直接あなたの家に行き、建物の壁の質、柱・梁の継手、土台、柱の腐蝕度など細部にわたって調査し、改善の必要な部分を指摘するものです。その費用は、建物の大きさにより異なりますが、約三万円から六万円です。

一・五以上の場合は、あなたの家はまず倒壊の心配はありません

「最善の施設保護よりも改善の居住保護の方が求められている」ということは古くからいわれてきている。これを推進したものに、一九世紀末にスイスで始められたホームヘルパーの制度があげられる。欧米の先進諸国では、この制度が早くから広く普及した。

わが国ではこの制度が初めて行われたのは、昭和31年に長野県の市町村に配置された家庭養護婦の制度であった。その後、大阪市、名古屋市などで家庭奉仕員制度が始められ、やがて全国各地でこの制度が行われるようになり、38年の老人福祉法制定に伴って、この制度の目的や運営方法が確立されるに至った老人向けの雑誌に、次のようなことが書いてあった。

「人間減多なことでは、ひとの世話にならないなどと宣言しない方がよい。時にひとの世話になっていいのだと思う。

その程度、頻度、内容によりお節介、迷惑に転ずるおそれがある。その時は、自分の常識にてらし合せて判断し、ひ

戸籍の窓

54・4・20～5・19

(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
小山	芦川 慶子	豊 長女
新町本町望月	暁子	正人 長女
〃	具志堅弘樹 稔	長男
四十九町天野	修一	孝三 長男
小池	金子 将樹	雅英 長男
東町二	尾崎美奈子	敏晴 二女
〃	黒田 明宏	雄治 長男
南町二	小林真知子	登 長女
富士見町佐野	将章	昌克 長男
八幡町	稲葉亜希子	智身 長女
〃	二又川将志	雅之 長男

よろこび

八幡町	井上さつき	徹 長女	
清水町	石川亜生美	保廣 二女	
区名	新郎	新婦	旧姓
小池	杉本 光男	雅代	五十嵐
日の出町石川	文雄	真佐江	荻
かぎあな佐野	良行	敏江	白井
八幡町	望月 康雄	富美子	鈴木
富士松野小泉	猛	きく江岡	
清水町	白井 途博	節子	西村
〃	白井 文雄	清江	篠原
区名	氏名	転出先	
木島	望月 弘子	清水市	
室野	谷津倉春江	伊豆長岡町	
坂下	太田 博子	富士宮市	
新町本町加藤	典子	富士宮市	
宮町	佐野 典子	蒲原町	

おしあわせに

南町一	影島 千歳	富士市
南町二	石川ちとせ	下田市
八幡町	小泉あき子	富士宮市
儘下町	小川いづみ	富士市
区名	氏名	年齢
室野	大石 かね	八四
相生町	野萩 幸	七七
上町	齋藤 操	五一
舟山町	望月 ひろ	七五
坂下	長谷川敏治	六五
〃	齋藤 陽介	〇
旭町	立花 さと	七八
幸町	中村 いと	六八
富士見町大石	もと	六〇
八幡町	小泉 君子	五三
大北町	宇佐美章夫	二七
〃	蓮池 くま	八九

かなしみ

豊かな富士川の流れに沿って変遷し、発展しつづけてきた我が町富士川。



川の歴史と共に、私達の祖先によって築き上げられ、受け継がれてきた文化遺産は町内各所で見うけられます。土の中に埋もれているものもあり、個人に保管されているものもあり、また路傍の片隅

で無言の語りかけをしつづけるものもあります。

これらのいくつかは詳しく調査され、町にとって特に大切なものは町民の宝として文化財に指定され大切に保管し、管理されています。

しかしながら、管理者が不明な石仏や道標などは心無い者に持ち去られてしまい、行き先全く不明のものもいくつかあります。このようなものはその場所にあつてこそ価値があるものです。決して庭

石などには使用してはいけません。

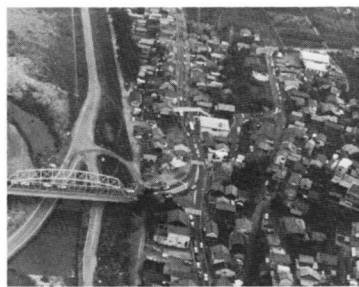
汗と血によって築き上げられた文化遺産には何一つとして不要なものはないと思います。現在受け継がれてきたものを処分することも確かに勇気のいる判断だと思いますが、守り伝えていくことは更にむずかしいことだと思えます。

二度とは得がたい大切な文化遺産を後世に受け渡すことは、現代に生きるわれわれの努めの一つではないでしょうか。(弘)

静岡航空協会の協力に感謝いたします

広報「ふじかわ」5月号でみなさんに紹介しました国道一号線富士川橋の渋滞調査資料を、より一層充実したものにして、国・県に陳情するため、静岡県航空協会の協力をえて5月16日・21日の朝夕のラッシュ時に航空写真を撮影させていただきました。

現在、同協会では、日曜日・祭日に、富士川河川敷で飛行練習を行っています。みなさんも同河川敷を横断する際には注意しなす。



上空から見た富士川橋交差点

おわび

前回発行5月号の議会人事で、奨学金審査委員会委員に望月貞彦議員と掲載しましたが、花田宗司議員の誤りですので、おわびして訂正させていただきます。

富士川短歌会

5月詠草(天野 寛選)

本通 渡辺 りん

茶摘終へ帰りの道に手折来し草花
捧ぐ亡き夫の前

宮町 若月 幸江
雑木山に真向う畑に茶を摘めは鶯
のたか音澄みてきこゆる

四十九 八月 弘子

町議選おわりし朝静けさは戻りて
土手に枇杷(びわ)の實青し

宮町 池田 てい

うすれゆく意識の中に痺れくる手
を握りしめ救急車待つ

小池 佐藤 ちよ

裏山の雑木の群はとりどりに若葉
色増しもありあがり見ゆ

宮町 山田たか子

パーティーの席に招かれはなやか
なる衣装に見とれ戸惑いおぼゆ

上町 植松 法子

一面に黒き穂の立つ芸の上を踏め
ば舞いあがる花粉のけむり

本通 長橋 安子

年若く盲となりし君に送る八十八
夜にわが摘みし茶を

四十九 辻 すみじ

副都知事に三木与志夫氏と吾子は
云う初夏の日ざしによるこびの家

四十九 塩川 恒子

茶のあくのしみし諸手にグラス持
ち若きらの門出共に祝いぬ